



# 夏休み寺子屋のご案内

福祉や防災などの体験型の企画が満載です。

◆申込み〆切 参加希望者は7月7日(金)までに電話、FAX、QRコードからお申込みください。申込み多数の場合は抽選。当選された場合のみ郵送にて通知します。



※赤字タイトルは有料

## ■なまずの学校

7月25日(火) ①10:00~12:00  
②13:30~15:30

りんどう会館3階大会議室

※手話通訳あり※①②同一内容

♥地震が起こった時のあらゆる場面で、アイテムカードの中からふさわしいものを選びます。

講師 おだわら子ども防災

定員 ①②各24人

## ■バス遠足~防災センターに行こう!

7月28日(金) 9:00~14:30

県総合防災センター他

♥地震体験などを通して、普段からできる備えについて考えます。

※お昼ごはんあり※参加費300円

講師 地域の見守りボランティア

定員 20人

## ■お寺で過ごそう!

8月1日(火) 9:00~14:00

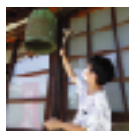
弘済寺

♥座禅や作務(掃除)など、お寺ならではの特別な体験をします。

※お昼ごはんあり※参加費300円

講師 弘済寺住職/弘西寺地域福祉会

定員 25人



## ■手話ではなそう!

8月3日(木) ①10:00~12:00

②13:30~15:30

女性センター会議室1・2

♥聞こえないってどんなこと?聞こえない人と一緒に楽しい時間を過ごします。

※手話通訳あり※①②同一内容

講師 手話サークルひまわり

定員 ①②各20人

## ■ハッピー♡パン教室

8月8日(火)・11日(金・祝)

13:00~15:00

パン工房ハッピー

♥パン工房ハッピー

で働く皆さんからパン作りを教わります。

※参加費1000円 ※両日同一内容

講師 パン工房ハッピー

定員 各12人



## ■解き明かせ!国際宇宙ステーション!!

8月17日(木) 13:30~15:30

文化会館小ホール

♥国際宇宙ステーション(ISS)でのお仕事についてお話を聞きます。

※手話通訳あり

講師 JAXA職員 定員100人

## ■防災キャンプ

8月19日(土) 13:30~15:30

中部公民館

♥被災地での活動経験がある先生から、楽しみながら防災を学びます。

※手話通訳あり※参加費300円

講師 災害ボランティアチーム DARST 定員 24人

## ■森のピカソ~森で森の絵を描こう

8月24日(木) 9:30~14:30

21世紀の森

♥大自然のなかで、

森の絵を自由に描

きます。絵の描き

方も教えてもらえます。

※お昼ごはんあり※参加費300円

講師 あしがらアートの森

定員 20人



## ■秋の寺子屋チャレンジ! パラスポーツ

9月24日(日) 10:00~14:00

体育センター

♥パラリンピックのスポーツや、ニ

ュースポーツを体験できます。

講師 市身体障害者福祉協会他

定員 60人

## 地域づくりフォーラム開催

### 自分の住むまちについて考えませんか?

高齢化が進み一人暮らしの高齢者や認知症の高齢者が増えています。今まで以上に「住みなれた地域でいつまでも、元気で暮らせる地域づくり」が求められています。

そこで社協では、自分たちが住む地域のことを自分たちで話し合う場(協議体)の設置に向けて検討を始めました。

10月3日(火) 13:30~15:30(開場13時) 文化会館小ホール

講師 一般社団法人コミュニティネットハピネス 土屋幸己さん

参加費無料 ■申込み9月29日(金)まで

## みなみのお福分け

~無料食料配布会~



生活困窮者へ社協に寄付された食料を配布。

7月22日(土) 9:00~16:00 りんどう会館

■事前予約制 予約方法:7月14日(金)まで

に電話またはQRコードから

※予約時に家族構成などを教えてください。人数に合わせた食品や日用消耗品をセットにご用意します。  
※生活保護を利用中の方は福祉事務所(市福祉課)にご相談の上、お申込みください。

生まれまして3ヶ月くらいの子猫を缶ビール半ダースでもらい受けました。白黒のいわゆる「はちわれ」で鼻の頭の黒い雌猫です。以来、一緒に暮らして16年になります。もう私の歳を追い越して、人間なら80歳くらいと思われれます。16年家の外にはほとんど出たことはなく、食事は安いペットフード以外食べません。イネ科のエノコログサだけは体調維持のため好んで食べます。

彼女は私の一日の行動パターンを熟知しており、いつも先回りして待っています。お腹がすいた時、日光浴をした時、一緒に寝たい時など、感心することしばしばです。"2人暮らし"なので、彼女は自分が生きていく上で、私が絶対に必要な相手であることもよく分かっています。

「老いていくことへの悩みや、死への恐怖はあるのだろうか。自分の一生を振り返り、幸せや不幸せについて考えたりするのだろうか」と、相棒としてはつい尋ねてしまいたいようになりますが、本人はそんな人間の浅慮とは無縁の境地を16年前から備えているのかもしれない。

そう遠くない将来、必ず別れの時がやって来ます。私が先に逝かないように気をつけなければなりません。何度か猫は飼いましたが今度が一番きつそうです。(編集委員 岩本和夫)

りんどう便り



◆申込み・問合せ ボランティアセンター 電話72-2299・FAX 74-3276